

政策シート

(政策名) 森林管理を通じた環境対応社会への貢献
(予算費目名) 林業振興費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

天竜美林の多面的機能の維持・拡大と林業・木材産業の成長産業化に向け、「浜松版グリーンレジリエンス」として、FSC森林認証制度に基づく持続可能かつ適切な森林管理と、天竜材を活用した新事業創出や天竜材の流通量及び販路を拡大する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	108,601	90,076	127,132	75,982
決算	101,951	72,957	129,262	
人件費(A)	36,800	70,760	77,140	85,220
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	138,751	143,717	206,402	161,202

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
FSC認証林面積	ha	48,000	目標	43,500	44000	44500	45000
			実績	43553	44404	45131	
FSC認証材生産量	m ³ /年	143,000	目標	71,000	79000	87000	95000
			実績	68911	80143	H30.7月頃	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

FSC森林認証制度の更新・拡大等を通じて、持続可能な森林整備・管理及び天竜材のブランド化を推進する。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

- <進捗> 計画通り
- ・適切な森林整備・管理により、FSC認証林面積は目標を達成することができた。
 - ・「浜松市公共部門における地域材利用促進に関する基本方針」に基づき、公共建築物へFSC認証材を積極利用するなど、FSC認証材の生産量も年々増加している。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	森林啓発・林業振興強化支援事業(負担金)					9,201	8,501	0.1				
2	森林・林業施設管理事業					21,880	16,960	0.6	0.2			
3	森林管理事業	〇	〇	〇		51,781	3,061	6.6	0.7			
4	治山事業					43,739	33,939	1.4				
5	森林保護事業					34,601	13,521	2.6	0.8			
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						161,202	75,982	11.3	1.7			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 森林啓発・林業振興強化支援事業(負担金)

◇事業目的・事業対象

市民の森林・林業に対する理解増進を目的に、啓発事業等を行う。

◇事業の概要

・森林啓発・林業振興強化支援事業(負担金)
市民と森林のふれあいなどを目的とした施設運営や林業活性化を図る団体などに対する経費を負担する(県立森林公園、奥浜名湖自然休養林、天竜流域活性化センター、静岡県山林協会 など)。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	9,475	10,334	8,803	8,501
	決算	9,414	10,280	8,803	
	国・県支出				
	市債				
	その他	540	1,045		
	一般財源	8,874	9,235	8,803	8,501
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		2,100	2,100	700	700
人工	正規	0.3	0.3	0.1	0.1
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
森林・林業体験活動への年間参加者数(人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	2,300	2300	2300	2300		2300
実績値	3023	2706	2018			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・森林啓発・林業振興強化支援事業(負担金)
市民と森林のふれあいなどを目的とした施設運営や林業活性化を図る団体などに対する経費を負担した(県立森林公園、奥浜名湖自然休養林、天竜流域活性化センター、静岡県山林協会 など)。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・森林啓発・林業振興強化支援事業(負担金)
各施設の運営等に対する助成を行い、参加者の森林・林業に対する市民の理解が進んだ。
・浜北森林公園(自然体験プログラム):1826人
・天竜流域林業活性化センター:192人

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・森林啓発・林業振興強化支援事業(負担金)は、負担金を支払う団体等の活動内容等を精査して支出した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・森林啓発・林業振興強化支援事業(負担金)は、負担金を支払う団体等の活動内容等を精査し、適切な負担金額を検討・調整していく。

事業シート (事業名) 森林・林業施設管理事業

◇事業目的・事業対象

森林での余暇活動の促進、都市と山村との交流の促進、林業従事者等の健康増進などを目的に、森林・林業施設の管理・運営を行う。

◇事業の概要

- ①指定管理施設の管理事業
林業関係者の福利厚生及び中山間地域の交流人口の増加を目的とした「天竜林業体育館」の維持管理。
- ②森林ふれあい施設維持管理事業
市民と森林とのふれあいや市民交流の促進を目的とした次の9森林交流施設の維持管理。
- ・舞阪町民の森
 - ・三方原防風林、観音山水源の森
 - ・湖畔の森、光明山生活環境保全林、上野ふれあいの森、熊平滞在施設、市民の森、野鳥の森(トイレ)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	17,198	17,195	16,791	16,960
	決算	16,775	15,511	14,966	
	国・県支出				
	市債				
	その他	67			
	一般財源	16,708	15,511	14,966	16,960
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		5,600	4,200	4,920	4,920
人工	正規	0.8	0.6	0.6	0.6
	再任用(h31)			0.2	0.2
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
森林体験・交流施設(天竜林業体育館)年間利用人数(人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	2,550	2600	2650	2700		3000
実績値	2099	2111	1806			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ①指定管理施設の管理事業
林業関係者の福利厚生及び中山間地域の交流人口の増加を目的とした「天竜林業体育館」の維持管理。
- ②森林ふれあい施設維持管理事業
市民と森林とのふれあいや市民交流の促進を目的とした次の9森林交流施設の維持管理。
- ・舞阪町民の森
 - ・三方原防風林、観音山水源の森
 - ・湖畔の森、光明山生活環境保全林、上野ふれあいの森、熊平滞在施設、市民の森、野鳥の森(トイレ)

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ①指定管理施設の管理事業
天竜林業体育館年間利用人数:1,806人
- ②森林ふれあい施設維持管理事業
市民が安全に森林と触れ合うことができるように、所管する9つの森林交流施設を適切に維持管理した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

天竜林業体育館は、H28年度～H30年度の指定管理期間の終了に合わせ、周辺の4施設と条例の一本化を目指して調整してきたが、今後も引き続き個別の条例で、現状と同じ管理方式となった。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・天竜林業体育館は、周辺の4施設との一体での管理により更なるサービスの向上に努め、利用者数の増加を図っていく。

事業シート (事業名) 森林管理事業

◇事業目的・事業対象

FSC森林認証を活用し、市民に持続可能な森林経営・管理の大切さを啓発するとともに、市有林の適切な管理・保全を目的に、市有林の間伐等や森林を活用した地域企業等のCSR活動を推進する。

◇事業の概要

【重点戦略 22】

①森林認証推進事業

- ア 天竜林材業振興協議会(FM認証部会)に対する負担金(FSC森林認証更新審査料負担金)
- イ 船越小学校におけるプロジェクト認証審査料
- ウ グリーンレジリエンス推進事業(普及・啓発のための講演会等経費)

②市有林管理事業

- ア 市有林の間伐、下草刈等
- イ 市有林を活用したCSR活動の推進

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算		11,790	47,892	3,061
	決算		11,445	46,257	
	国・県支出				
	市債				
	その他		5,764	197	1,995
人件費(報酬等)(千円)	一般財源		5,681	46,060	1,066
	一般会計繰入金				
	人件費(千円)		36,400	38,900	48,720
人工	正規		5.2	5.3	6.6
	再任用(h31)			0.5	0.7
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
FSC森林認証面積(ha)				I -1(1)I		22
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	43,500	44000	44500	45,000	45500	48,000
実績値	43553	44404	45131			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
FSC認証材生産量(m ³ /年)				-		22
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	71,000	79000	87000	95,000		143000
実績値	68911	80143	H30.7月頃			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年間間伐実施面積(ha)				-		22
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	2,000	2000	2000	2,000		2000
実績値	2241	2692	H31.1月頃			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
木材・木製品製造業 製造品出荷額(億円/年)				I -1(1)I		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	323	355	324	356	450	450
実績値	229(26実績)	177(H27実績)	H30.9月頃			

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

【重点戦略 22】

①森林認証推進事業

ア 天竜林材業振興協議会(FM認証部会)に対する負担金(FSC森林認証更新審査料負担金)

イ 浜名中学校におけるプロジェクト認証審査料

ウ グリーンレジリエンス推進事業(普及・啓発のための講演会等経費)

エ 2020年開催予定のFSC国際本部総会の浜松市開催に向けた誘致活動

②市有林管理事業

市有林を活用したCSR活動の推進

③林地台帳整備事業

森林法の一部改正に伴い、統一的な基準に基づいた森林所有者や境界に関する情報等の整備

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

①森林認証推進事業

ア 適切な森林管理により、FSC森林認証面積を45,131haまで増加

イ 浜名中学校、江西中学校でFSCプロジェクト認証取得。

ウ グリーンレジリエンス推進事業:「グリーンレジリエンスサロン」を実施。都内での意見交換会、天竜での現場見学会

エ FSC本部総会の浜松開催に向けた誘致活動として、2017年10月にカナダのバンクーバーで開催された総会へ参加。
2018年3月に、FSC国際本部理事会が浜松市で開催。

②市有林管理事業

市有林を活用したCSR活動の推進:小堀谷市有林で㈱NTTドコモが活動

③林地台帳整備事業

森林法の一部改正に伴い、統一的な基準に基づいた森林所有者や境界に関する情報等の整備

・事業の見直し

実施結果

大項目 改善 小項目 統合・再構築 / その他 事業費 現状 人工 現状

・江西中学校と浜名中学校では、プロジェクト認証取得のほか、江西中学校は一部の教室に、また浜名中学校は全生徒にFSC認証製品である木製学童机・椅子を導入した。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 情報発信 / 収集・分析 事業費 拡大 人工 現状

・グリーンレジリエンス推進のための、普及・啓発事業を実施していく。

・今後も引き続き小中学校への木製学童机・椅子の導入を、教育施設課とともに検討していく。

補助シート (事業名) 森林管理事業

◇事業工程表(No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
22	・森林認証推進事業	・森林認証推進事業 ・市有林管理事業 ・市有林資源・搬出量調査事業	・森林認証推進事業 ・市有林管理事業 ・林地台帳整備事業	・森林認証推進事業 ・市有林管理事業
〇〇				

事業シート (事業名) 治山事業

◇事業目的・事業対象

林業活動や市民の安心・安全な暮らしを守るなどを目的に、林地や下流に被害が及ぶ恐れのある森林を保全する。

◇事業の概要

①県単独補助治山事業

県単独補助により、山地崩壊地の復旧や荒廃の恐れのある林地の予防及び治山施設の補修を行う。

②市単独治山事業

国及び県の補助の対象にならない箇所を、市単独事業として、山地崩壊地の復旧や荒廃の恐れのある林地の予防及び治山施設の補修を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	39,146	35,776	35,901	33,939
	決算	33,865	21,756	39,919	
	国・県支出	18,984	10,377	23,119	15,876
	市債				
	その他				
	一般財源	14,881	11,379	16,800	18,063
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		9,800	11,900	11,900	9,800
人工	正規	1.4	1.7	1.7	1.4
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
治山工事年間実施箇所(箇所)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	5	5	5	5		5
実績値	8	6	2			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

①県単独補助治山事業【決算34,678千円(うち前年度繰越17,880千円)】
県単独補助により、山地崩壊地の復旧や荒廃の恐れのある林地の予防及び治山施設の補修を実施。
②市単独治山事業
国及び県の補助の対象にならない箇所を、市単独事業として、山地崩壊地の復旧や荒廃の恐れのある林地の予防及び治山施設の補修を実施。

・事業の成果と課題

指標の達成度

①県単独補助治山事業
過疎地域における治山事業を行った(2箇所)
②市単独治山事業
県単独補助基準に満たない小規模な治山事業を行った

・事業の見直し

実施結果
大項目 小項目 / 事業費 人工
・計画どおり事業を執行し、山地崩壊地の復旧や山地災害を未然に防ぐことができた。

今後の方向性
大項目 小項目 / 事業費 人工
・計画に基づいた事業を執行し、山地災害を未然に防止していく。

事業シート (事業名) 森林保護事業

◇事業目的・事業対象

森林や農林水産物を様々な病虫や鳥獣の被害から守ることを目的に、必要な対策事業を行う。

◇事業の概要

①松くい虫被害対策事業
三方原防風林や森林公園周辺など、松林における松くい虫被害の拡大を防止するため、伐倒駆除及び薬剤散布を行う。

②カモシカ被害対策事業
造林木などに被害を与えるカモシカ(特別天然記念物)の生息密度を適正にするため、カモシカの生息や被害状況の調査、捕獲による個体数調整を行う。

※ただし、正規0.4人工、再任用(h31)0.7人工は、農業振興課所属職員分

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法、鳥獣保護法、森林病虫害等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	42,782	14,981	17,745	13,521
	決算	41,897	13,965	19,317	
	国・県支出	291	270	335	520
	市債				
	その他				
	一般財源	41,606	13,695	18,982	13,001
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		19,300	16,160	20,720	21,080
人工	正規	2.5	2.0	2.6	2.6
	再任用(h31)	0.5	0.6	0.7	0.8
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
松くい虫被害木の被害率(三方原防風林・舞阪町民の森) ※被害本数/全本数(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	9	1	1	1		1
実績値	0.65	0.78	0.88			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

①松くい虫被害対策事業
三方原防風林や森林公園周辺など、松林における松くい虫被害の拡大を防止するため、伐倒駆除及び薬剤散布を実施。

②カモシカ被害対策事業
造林木などに被害を与えるカモシカ(特別天然記念物)の生息密度を適正にするため、カモシカの生息状況や被害状況の調査、捕獲による個体数調整を実施。

※ただし、正規0.5人工、再任用(h31)0.6人工は、農業振興課所属職員分

・事業の成果と課題

指標の達成度

①松くい虫被害対策事業
予算の範囲内で、被害木の伐倒駆除や薬剤散布を行った。
伐倒材積:521m³

②カモシカ被害対策事業
被害実態調査を実施し、71頭の個体数調整を行った。

・事業の見直し

実施結果
大項目 小項目 / 事業費 人工

・H27年度に実施した被害木の一齐伐倒駆除により、松くい虫被害の拡大が抑えられたため、必要最低限の予算で被害が防止できた。

今後の方向性
大項目 小項目 / 事業費 人工

・松くい虫被害木の早期発見早期撤去を徹底し、被害の沈静化を進める。
・カモシカによる森林被害を抑制するため、計画どおりに個体数調整を実施していく。